

# 外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

## アルゼンチンへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2025年9月08日（継続）

首都ブエノスアイレス市及び周辺都市、  
サンタフェ州ロサリオ市

〔レベル1〕

「十分注意してください。」（継続）

### 【ポイント】

- 首都ブエノスアイレス市及び周辺都市では、銃器を使用した殺人、強盗、誘拐等の凶悪犯罪が発生しているため、十分な注意が必要です。
- サンタフェ州ロサリオ市では、麻薬組織間抗争が継続し、銃器を使用した殺人等の凶悪犯罪が多発しています。治安当局は重点的に同市に治安部隊を配置して改善にあたっていますが、十分な注意が必要です。

### 【概況】

- (1) アルゼンチンは、かつて他の中南米諸国に比べ教育・生活水準が高く、比較的治安の良い国と言われていましたが、近年の経済・財政状況の悪化により貧困層が増加し、首都ブエノスアイレス市を中心に強盗、窃盗等の犯罪が発生しています。また、銃器類が大量に出回り、銃器を使用した凶悪犯罪が発生しているため、十分な注意が必要です。
- (2) 首都ブエノスアイレス市及び周辺都市には、「ビジャ」と呼ばれるスラム街が点在し、「ビジャ」内部や周辺では、銃器を用いた殺人、強盗等の凶悪犯罪が多発しています。同市の強盗発生件数は、現地当局統計で全国平均の2倍以上です。
- (3) サンタフェ州ロサリオ市では、麻薬組織間抗争が激化していることから、銃撃による死傷者が多数発生しています。麻薬組織関係者だけでなく一般市民についても、抗争に巻き込まれて流れ弾により死傷する事件が発生しています。同市の殺人発生件数は現地当局統計で全国平均の2倍近くに及びます。

これまでに、アルゼンチンにおいてテロ・誘拐による日本人の被害は確認されていませんが、近年、警備や監視が手薄で一般市民が多く集まる場所を標的としたテロが世界各地で頻発しています。

観光施設周辺、イベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、公共交通機関、宗教関連施設等はテロの標的となりやすく、常に注意が必要です。また、上述の短時間誘拐を含め、外国人を標的とした誘拐のリスクも排除されず、注意が必要です。

テロはどこでも起こり得ること、日本人もテロ・誘拐の標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないよう、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等から最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

詳細は、アルゼンチンの「テロ・誘拐情勢」も、併せてご確認ください。

[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror\\_241.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_241.html)

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp>

<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbright.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、

外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903

外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306

外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047

までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。